



*親子でお読みください

実り多い2学期に! キーワードは「挨拶・礼儀」

8月29日(木)から、2学期が始まりました。授業日数は78日です。1年の中で最も長く、多くの成長が期待できる時期です。学習でも、運動でも、仲間作りでも、実り多い2学期になることを願っています。

2学期の始業式では、パリオリンピックでの日本人選手の活躍を話題にしながら「挨拶・礼儀」をキーワードとして話をしました。これまでも、愛鷹小では挨拶ができることを大切にしてきました。始業式では改めて挨拶の大切さに触れ、「挨拶・礼儀」を、2学期にがんばることのキーワードとして共有しました。そして、愛鷹小の教育目標である「できたがいっぱい愛鷹小」にせまれるよう教育活動を進めていきます。御理解と御協力、よろしく願いいたします。

パリオリンピックでは、多くの日本人選手が活躍して、外国で行われた大会では過去最高のメダル数だったことが、話題になりました。それ以上にニュースなどでよく目にしたのが、日本人選手の競技以外の振る舞いでした。相手への思いやりや、観客への礼儀、マナーが世界一流だったということです。日本の文化が世界でも注目されたということでしょう。

愛鷹小のみんなは、挨拶がとてもよくできます。いろいろな先生方も挨拶がよくできる愛鷹小の子は立派だと話しています。小学生の頃から挨拶や礼儀を大切にしていることが、オリンピックでの日本人の礼儀とつながっているのかもしれない。すてきなことです。

では、挨拶や礼儀にはいったいどんなよさがあるのでしょうか。

挨拶・礼儀は3つの力につながると言われています。

- 1つめは、「相手に感謝の気持ちを伝える力」です。しっかりとお礼が言えるとか、ありがとうの気持ちを伝えることができるということです。
- 2つめは、「相手を尊重し、人や物を大切にする力」です。リスペクトという言葉がありますが、相手を敬ったり、思いやりの気持ちをもてるということです。
- 3つめは、「規律(ルール・約束)を守る力」です。これは身の回りの整理整頓をする力にもつながるそうです。

これらの力は、周りの人と上手に関わっていくためにはなくてはならない力になります。挨拶ができるということは、とても大切だということが分かると思います。日頃から、挨拶をすることを通して、みなさんにはこんな力が育っているのです。オリンピックのような特別なときだけではなく、日頃から当たり前のようにできることが大切です。「挨拶・礼儀」を2学期のキーワードとして、愛鷹小が今まで以上にすてきな学校になるようにしましょう。

(始業式校長の話より抜粋)



【お知らせ】

- 下校時刻一覧表の回覧は行いません

今年度より学校からの配付物削減、業務の効率化のために、学校だより・学年だよりのメール配信を進めています。愛鷹地区各自治体には今までどおり紙媒体での学校だよりの回覧をお願いしています。下校時刻一覧表は防犯上の理由で回覧は行っていませんが、見守り隊の皆様へはメール等で配信しています。今後も子供たちの安全を見守る活動への御理解と御協力をお願いいたします。見守り隊についてのお問い合わせは愛鷹小教頭までお願いいたします。

- 飼育小屋解体しました

「鷹の子森」の飼育小屋は、令和3年度末から生き物の飼育は行っていませんでした。利用法を検討しましたが、老朽化が進んでいるため安全面を考慮し夏休みに解体しました。今後も、鷹の子森が子供たちの安全な憩いの場となるようにしていきたいと考えていきます。